

## 行政評価委員会(新規事務事業評価)結果一覧【平成30年11月30日時点】

施策番号	整理番号	事業名	担当課	評価結果	
				判定	委員会コメント
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち					
1	1	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業	子育て支援課	次年度以降持ち越し	就業支援を目的とした学童クラブ事業における対象要件などの関係性も含め、派遣対象要件の見直しについては、再度検討を行うこと。
1	2	産後ケア事業の充実	子育て相談課	計画どおり実施	他市町の利用回数や利用料金を踏まえた内容としていくとともに、市民ニーズに応じた内容となるよう精査していくこと。
1	3	発達支援体制の充実	子育て相談課	改善したうえで実施	巡回相談とちよこつと広場は、相関性のある事業として、実態に即した業務時間数となるよう精査し、効率よく早期発見・早期支援につなげていくこと。学童クラブ支援員のサポート事業は、研修内容等を整理し、切れ目のない発達支援体制の充実を図ること。
1	4	家庭教育読本(仮称)の発行	生涯学総務課	改善したうえで実施	冊子としての発行ではなく、電子媒体やインターネット環境での閲覧など、様々な媒体による活用方法を検証したうえで実施すること。 また、小中学生だけでなく、0歳から6歳児への対応のほか、母子手帳アプリの導入との連携も含めて検討し実施すること。
2	5	満2歳児を対象とした幼稚園型一時預かり事業	子育て支援課	計画どおり実施	待機児童を解消するため、事業を推進していくとともに、0歳から2歳児の定員の拡大に向けた取組みも検討し、安定的な提供体制を確保していくこと。
3	6	学校体育館における猛暑対策(冷風機の配備)	生涯学総務課	改善したうえで実施	国や東京都の補助事業の動向を注視しつつ、他市の使用状況等を参考にしながら、台数や冷風機の機能による猛暑対策の効果をしっかりと検証した上で実施していくこと。
3	7	中学校における特別支援教室の実施	教育支援課	計画どおり実施	平成31年4月の実施に向け、発達障害のある生徒が在籍校で有意義な学校生活を送ることができるよう、支援体制の整備を進めること。
3	8	学習サポーターの中学校3校への配置拡充	学校教育課	改善したうえで実施	学校毎のクラス数における授業の実時間数を把握し、本来必要とされるクラスや時間数に精査した上で実施すること。
3	9	学校図書館総合管理システムの拡大	学校教育課	計画どおり実施	システムの機能と学校や図書館とのネットワーク化を最大限活用し、児童生徒の読書活動の向上を図ること。
3	10	学校と家庭の連携推進事業の拡充	教育相談室	計画どおり実施	教育相談体制に関わる人材の役割分担を明確化し、多様なニーズに応じた相談体制を効果的に活用できるよう取組むこと。
3	11	教育相談室LANシステム	教育相談室	計画どおり実施	ネットワーク化による情報連携を活用し、教育相談体制の充実を図り、支援が必要な児童・生徒の問題行動の未然防止、早期発見、早期支援につながるよう取組むこと。
5	12	ALT,英語コーディネーター、外国語活動アドバイザーの拡充	学校教育課	改善したうえで実施	東京都委託事業の取組成果を授業や教材作成に活かしていくとともに、学校毎の英語教育授業の実時間数を把握し、総時間数の精査を行うこと。
5	13	自然休暇村を活用した自然体験の実施	生涯学習総務課	次年度以降持ち越し	各部署で取組んでいる同様の事業との連携を図り、市の資源を活用した事業として再検討を行うこと。 また、自然休暇村の指定管理者において、事業を取り入れることも検討すること。
5	14	図書館システムの更新及びICタグ化の導入	図書館	改善したうえで実施	ICタグの貼り付け作業委託の経費が高額であることから、臨時職員等の対応との比較検証をしたうえで実施していくこと。 また、システム導入による人件費の削減効果を反映していくこと。
5 11	15	ウォーキングマップの作成	スポーツ推進課	改善したうえで実施	現在発行している観光マップのコースと比較検証するとともに、楽しみながらウォーキングできるよう、観光スポットなどを取り入れたコースを検討すること。夜間照明や歩道の幅員などの安全性も含めて、スポーツ推進委員協議会でコース設定を検証したうえで実施すること。

行政評価委員会(新規事務事業評価)結果一覧【平成30年11月30日時点】

施策番号	整理番号	事業名	担当課	評価結果	
				判定	委員会コメント
基本目標2 安心して暮らせる支えあいのまち					
7	16	生活支援従事者養成研修事業	高齢福祉介護課	計画どおり実施	生活支援家事サポーターが減少しないよう、導入効果を検証しながら、事業を実施していくこと。
7	17	認知症の人にもやさしいお店・事業所認定事業	高齢福祉介護課	次年度以降持ち越し	今後、認知症高齢者が増加することを想定すると、認知症対策の必要性は高いが、認知症の方に対する影響や反響などの具体的な事業効果が見えにくいので、ネーミングを含め、再度、検討していくこと。
7	18	認知症プログラムの統廃合	高齢福祉介護課	改善したうえで実施	今後、認知症高齢者の方が増加することを想定すると、認知症対策の必要性は高いが、プログラム参加者が減少しており、これまでの取組みとこれからの取組みの内容を整理すること。 また、自主グループの活動が継続していくための後方支援策についても、継続して検討すること。
7	19	高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定	高齢福祉介護課	改善したうえで実施	計画策定における基礎調査の実施方法や調査内容、その効果等について、十分、精査すること。 また、策定部数についても精査すること。
8	20	移送サービス事業車両の購入	障害福祉課	改善したうえで実施	より効率的で効果的な事業内容となるよう、リース契約による比較検証や、民間団体等における寄付(補助率に関わらず)の可能性を探るなど、事業内容や事業経費を十分精査すること。
8	21	ヘルプマークの作成	障害福祉課	計画どおり実施	ヘルプマークの配布における普及効果について、検証を図るとともに、引き続き、啓発活動に取り組んでいくこと。
8	22	障害者計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定	障害福祉課	改善したうえで実施	計画策定における基礎調査については、実施方法や調査内容、その効果等を十分、精査していくこと。 また、計画期間が3か年である計画を2か年かけて策定していくことは効率的とはいえず、審議会の在り方など策定に関するスキームや策定部数など全体的に見直すこと。
10	23	糖尿病性腎症重症化予防事業	市民課	改善したうえで実施	実施方法などについて、庁内関係部署及び関係機関との調整を行うこと。 また、医療費の抑制と市民の健康増進を図る観点の両面から、事業実施の費用対効果を検証すること。
10	24	後期高齢者医療保険料額決定通知書等電算処理・作成委託	市民課	改善したうえで実施	同じ事業者のシステムを活用している他の税目も含め、一本化できる部分がないかを検証し、事務の効率化と事務経費の縮減を図ること。
11	25	新生児聴覚検査の公費負担	健康課	計画どおり実施	東京都統一ルールに基づく事業であるが、財源確保に向けた情報収集を図っていくこと。
11	26	がん検診受診率向上のための受診勧奨の充実	健康課	計画どおり実施	より効率性の高い施策となるよう総合的な対応策について、本事業の費用対効果を検証しながら、継続して検討していくこと。
11	27	母子手帳アプリ(子育て支援アプリ)の導入	健康課	改善したうえで実施	他の自治体では、無料アプリの導入がなされており、調査検証を図ること。 また、個人情報に対するセキュリティ対策についても不確定な要素があることから、十分な検討を行うこと。
11	28	自殺対策計画の策定	健康課	計画どおり実施	自殺対策に関連する施策・事業等は多岐にわたることから、計画内容を精査した上で実施していくこと。 また、ゲートキーパーの養成や心の健康セミナーの開催など、独自に取り組んできた関連事業もあるので、有効的な計画策定に努めること。
11	29	健康はむら21(第2次)の中間評価	健康課	改善したうえで実施	各事業の実績に基づく評価・分析等は、計画の進捗を把握する上で重要な要素であることから、健康づくり推進員の協力を得ながら、中間評価を実施していくこと。 また、計画における指標の在り方についても、検討していくこと。

## 行政評価委員会(新規事務事業評価)結果一覧【平成30年11月30日時点】

施策番号	整理番号	事業名	担当課	評価結果	
				判定	委員会コメント
<b>基本目標3 ふれあいと活力のあふれるまち</b>					
14	30	「気象観測装置」の導入	防災安全課	改善したうえで実施	機器を設置して得られる情報に関する市としての捉え方、災害対策や熱中症対策への活用方法を明らかにしていくこと。また、その市の方針に基づく市民への情報提供・行動喚起についても検討すること。
16	31	「わんわんパトロール事業」の実施	防災安全課	実施しない	グッズを配布することが目的ではないことから、協力してくれる方の安全管理・安全保障、通報を行う窓口などを明らかにする必要があるほか、関係機関・団体がすでに実施している同種事業についてもよく確認すること。
21	32	サイクリングステーションの整備	産業企画課	改善したうえで実施	水上公園の関係と合わせて平成31年度に検討し、平成32年度に向けた検討を進めること。また、サイクリストの動線やニーズの把握を行うこと。用地の購入は見送り、暫定的な整備が必要であれば、アスファルト舗装を行うなどの対応を図ること。
<b>基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち</b>					
25	33	家庭用生ごみ処理容器等の購入費助成	生活環境課	計画どおり実施	実施にあたっては、事業を再開する趣旨やその必要性、今後の展開についても整理・検討した上で、取り組んでいくこと。
29	34	市道第202号線(川崎街道)の歩道整備	土木課	改善したうえで実施	各関係機関・団体及び事業者と調整を行い、施工を実施すること。
29	35	市道第104号線(栄小通り)のバリアフリー化及び道路補修工事	土木課	改善したうえで実施	設計委託料、工事費の精査を行うこと。また、車道部分の舗装が悪い箇所については、部分的な補修も検討すること。
29	36	市道第7078号線道路拡幅事業	土木課	次年度以降持ち越し	今後の都道拡幅工事の状況を確認するとともに、児童遊園の買取りも含めた対応を検討すること。
29	37	動物公園前歩道橋撤去工事	土木課	改善したうえで実施	施設の現状を鑑み、関係機関・団体と調整を行い、平成31年度内に撤去工事に着手できるよう努めること。
30	38	水木公園施設の改修工事	土木課	次年度以降持ち越し	今後の市内公園、児童遊園あり方や、樹木、遊具等の維持管理や必要性などを整理し、水木公園の整備・改修の方針を定めること。
30	39	公園樹木・遊具調査委託	土木課	改善したうえで実施	これまでに調査を行った資料などを確認し、委託化に向けたデータの整理を行うこと。
30	40	武蔵野公園運動器具設置工事	土木課	実施しない	新たな施設の設置を行う前に、市内公園における現在設置してある各種施設の状況を確認・整理し、改修・撤去などの維持管理についての方向性を定めること。
30	41	江戸街道公園の整備	土木課	改善したうえで実施	整備に向けた課題の整理や関係部署、機関などとの調整を行うとともに、補助金の活用や整備方針について検討していくこと。
30	42	公園管理における指定管理者制度の導入	土木課	次年度以降持ち越し	公園台帳システム整備に係る内容及び費用について精査すること。また、先行的に指定管理者制度を取り入れている自治体の事例を確認するとともに、制度導入と非導入でのコスト比較をすること。
32	43	送水管路の二重化	上下水道設備課	計画どおり実施	適切な送水管路のルートの検討や事業費の算定など、綿密な検討を行い、早期に二重化への対応を図ること。
33	44	下水道ストックマネジメント計画の策定	上下水道設備課	計画どおり実施	事業計画変更認可申請及び国庫補助金本要望へ対応できるよう、遅滞なく計画策定を進めること。

行政評価委員会(新規事務事業評価)結果一覧【平成30年11月30日時点】

施策番号	整理番号	事業名	担当課	評価結果	
				判定	委員会コメント
基本構想を推進するために					
34	45	「東京で子育てしやすいまち」羽村市モニターツアー	シティプロモーション推進課	改善したうえで実施	PR活動と日帰りツアーに係る委託内容や実施内容を見直し、より効果的かつ効率的な内容に改善したうえで実施すること。
34	46	子育てワンストップサービス(ぴったりサービス)の導入	総務課	計画どおり実施	マイナンバーカードの普及及び利用促進につながるとともに、手続き方法の拡大により子育て世代の利便性の向上につながることから、計画どおり実施とする。
34	47	市庁舎防犯カメラ設置事業	契約管財課	計画どおり実施	庁舎の防犯対策のさらなる強化に必要な取組みであり、計画どおり実施とする。